

TKY550Pigs

戦後・ハワイから贈られた豚の壮大な物語

藤木志いさー
独演会

2025

三田市総合文化センター
郷の音ホール 小ホール

4/28

(月曜日)

2025

アゼリア大正・ホール

4/29

(火曜日・祝日)

開場 18:30 開演 19:00

場所： 三田市総合文化センター
郷の音ホール 小ホール

〒669-1531 兵庫県三田市天神 1 丁目 3 番 1 号
◆JR宝塚（福知山）線「三田駅」、神戸電鉄「三田駅」下車
◆神姫バスで「三田駅」から約5分（「総合文化センター前」下車）

◆連絡先：090-3928-7596（小宮）

◆料金：2000円 学生・障がい者 1000円（介助者無料）

◆主催：藤木志いさー独演会実行委員会、シイの会

◆連絡先：関西沖縄文庫 06-6552-6709



第一部 開場13:30 開演14:00

第二部 開演15:30 うた・三線 エイサー
場所：アゼリア大正・ホール

〒551-0003 大阪府大阪市大正小林東 3 丁目 3 番 25 号
◆地下鉄長堀鶴見緑地線《大正駅》または JR環状線《大正駅》から徒歩：30分
◆大阪シティバス：「小林」下車 徒歩 2分

◆連絡先：090-3943-8814（金城）
090-2087-3464（松本）



うちな～噺家 藤木志いさー



1961年沖縄県コザ市生まれ。
1985年に「笑楽過激団」翌年「りんけんバンド」に参加。
1993年に立川志の輔師匠を師事し独立。
沖縄を題材に一人芝居や高座話を始める。
NHK連ドラ「ちゅらさん」「ちむどんどん」では、
出演と沖縄ことば指導を務める。
現在はうちな一噺家として沖縄落語を確立するために奮闘中。

550PIGS

チェスターホワイト種



この種類の豚を中心に550頭の豚が沖縄に贈られた。
このチェスターホワイトは近代的なミートタイプで
成豚は雄で330kg、雌で250kg程。性格は極めて温順で、
群飼してもケンカもせず集団飼育が容易である。しかも
雄豚の精力は絶倫で、雌豚は多産で、子豚は発育が早い。

第二次世界大戦後、荒廃した沖縄に沖縄出身者が550頭の豚を贈った逸話は沖縄ではよく知られています。しかし、なぜ豚だったのか？その莫大なお金は何処から？そしてどう運んだのか？その謎をハワイ出身の3人の沖縄の血を継ぐ男たちの生き様と、多くのエピソードを楽しく語りつつ紐解いていきます。



T ひがたろう 比嘉太郎

(当時31歳)で日系移民2世、第二次世界大戦で米軍人として第100大隊に所属し、旧ナチスドイツと激戦を極めたヨーロッパ戦線で2度負傷。退役後は英雄としてハワイに帰還。しかし沖縄上陸作戦を聞きつけ、自ら通訳兵として志願し参戦。戦中・戦後と沖縄の人たちの救済に力を尽くす。



K ほかまつみ 外間勝美

(当時42歳)沖縄に豚を贈った。布哇連合沖縄救済会の書記。しかし、それ以上に沖縄芸能全般にタケており、募金を募るために自費でラジオ番組を立ち上げ、興行を打ち、その知恵と能力で、困難を乗り越えながら募金目標に向かってまい進する。



Y うえずやすお 上江洲易男

(当時29歳)沖縄に豚を贈るための豚付き添い人7人のうちの1人、メンバーの中で最年少ながら、その行動力とバイタリティはピカイチ。沖縄に対する思い一つであらゆる困難を乗り越えて豚付き添い人となり、仲間たちと豚輸送に命を懸けて携わる。

— 豚、あるいは屈辱と匂い — 藤木志いさー独演会実行委員会

戦後、沖縄人の命を救ったのが豚たちだったという。裏を返せば、沖縄戦がどれほど残酷なものであったか。

そしてかろうじて生き残った人にとって、生き続けることがどれほど困難なものであったか。

そんな豚の物語が大阪にやってくる。今度は50年続く、がじまるエイサー祭りの応援に。

思えば戦後の関西の地でも豚(養豚業)によって沖縄人たちは生き延びていた。

沖縄人にとって豚は生きることと切り離せない大切なものである。

4月28日は、1952年サンフランシスコ講和条約によって沖縄が日本から切り離された日である。

“屈辱の日”と呼ばれるその日はどういう意味を持つのだろうか。“屈辱の日”という言葉によって沖縄が日本から「切り離された」という事実と、もうひとつ同時に、沖縄人が日本から「切り離されていない」という現実を生み出している。私たちはあまりにも多くのことを見て見ぬふりをして過去のことにしてきた。耳をすませば、豚は過去から現在へあなたに語りかけている。政治には感じるこゝろがない匂いと体温がそこにはある。その時、豚を抱きしめてみたいという気持ちが湧いてきたのなら幸いである。

“屈辱の日”とは何か。まず屈辱を<<誰と誰が>><<誰と誰に>>与えたのか、豚の話と一緒に考えてみるのも、あなたにとってもブタであってもムダではない。匂いと体温はなくなることはない。なぜなら、匂いも体温もあなた自身そのものなのだ。